

# 新型コロナウイルス感染症に対応した“表現領域”の学習指導 ～やっぱりみんなで歌いたい！合唱がしたい！の巻～



感染症予防対策のため、歌唱を控えている学校が多いのではないのでしょうか。本事例は、コロナ禍にあっても、子供たちの「歌いたい！」の声にこたえ、児童生徒が主体的に自分たちの演奏を披露することを目指した歌唱の題材計画（例）です。家庭学習を効果的に組み込み、特別活動と関連付けた題材となっています。

## 【題材名】響け！届け！私たちの合唱 ～コロナに負けない演奏会～

目標：発表曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、発表曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。

### 課題設定

「●●(聴き手)に喜んでもらえる合唱」とは、どのような合唱かを考える。



音楽の授業で歌いたい！  
今年も合唱コンクールがしたい！



今年も地域の方に学習発表会で聴いてもらいたい！

○なぜ、歌いたいの？ 合唱がしたいの？コンクールや発表会の何が良かったの？

「●●(聴き手)に喜んでもらえる合唱」とは、どのような合唱だろう？

みんなで歌いたい！聴いてもらいたい！喜んでもらいたい！

○みんなで曲をつくる過程が好き！  
○ハモリや、強弱で曲が盛り上がると感動する！  
○みんなで歌う一体感や、達成感がたまらない！  
○聴いてくださる方に喜んでもらえたら嬉しい！



学校で

発表する曲の良さが伝わる合唱（曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解、曲にふさわしい表現の創意工夫）  
心地よいと感じてもらえる合唱（創意工夫を生かした表現で歌うための技能）  
一生懸命な取組が伝わる合唱（主体的に学習に取り組む態度）

安心して喜んでもらうため、3密を避けた発表＆聴いてもらう方法も考えないと！

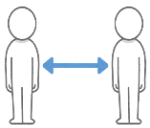
### 情報収集

①家庭学習で、音源を聴き、気付いたことや感じたことを書き留める。音源に合わせて歌う。作詞者・作曲者が曲に込めた思いを調べたり考えたりする。



家庭学習で

②特別活動で、3密を避けてできる発表及び聴いてもらう方法を考える。



歌う方法

聴く方法



特別活動で

### 整理・分析

### 表現



グループや全体で試行錯誤しながら、協働して音楽表現を生み出す。

表現と整理・分析を往還させながら、音楽表現を創意工夫します。



喜んでもらえる合唱をめざし、曲について更に分析する。  
(曲想と音楽の構造や曲の背景等との関わりについての理解を加え、曲に対する捉え方を質的に深める)

学校で

家庭学習で

### 中間発表会

他者評価を得る機会を設定するのも、新たな課題を発見し、学びを深めるのに効果的です！考えた発表方法も試してみましょう。

### 実行



【発表方法（例）】※適切な距離で  
○体育館等、広い場所で一斉に歌う  
○録音を発信(webサイト、ケーブルテレビ等)  
○リモート合唱

教師の適切な指導のもと、特別活動の時間に合意形成した発表及び鑑賞方法で行います。

学校で・家庭で

### まとめ

「喜んでもらえる合唱とは」(発展として「人はなぜ歌うのか」、「歌が人々の生活や社会に果たす役割は何か」)などについて自分の考えを書く。

学校で